



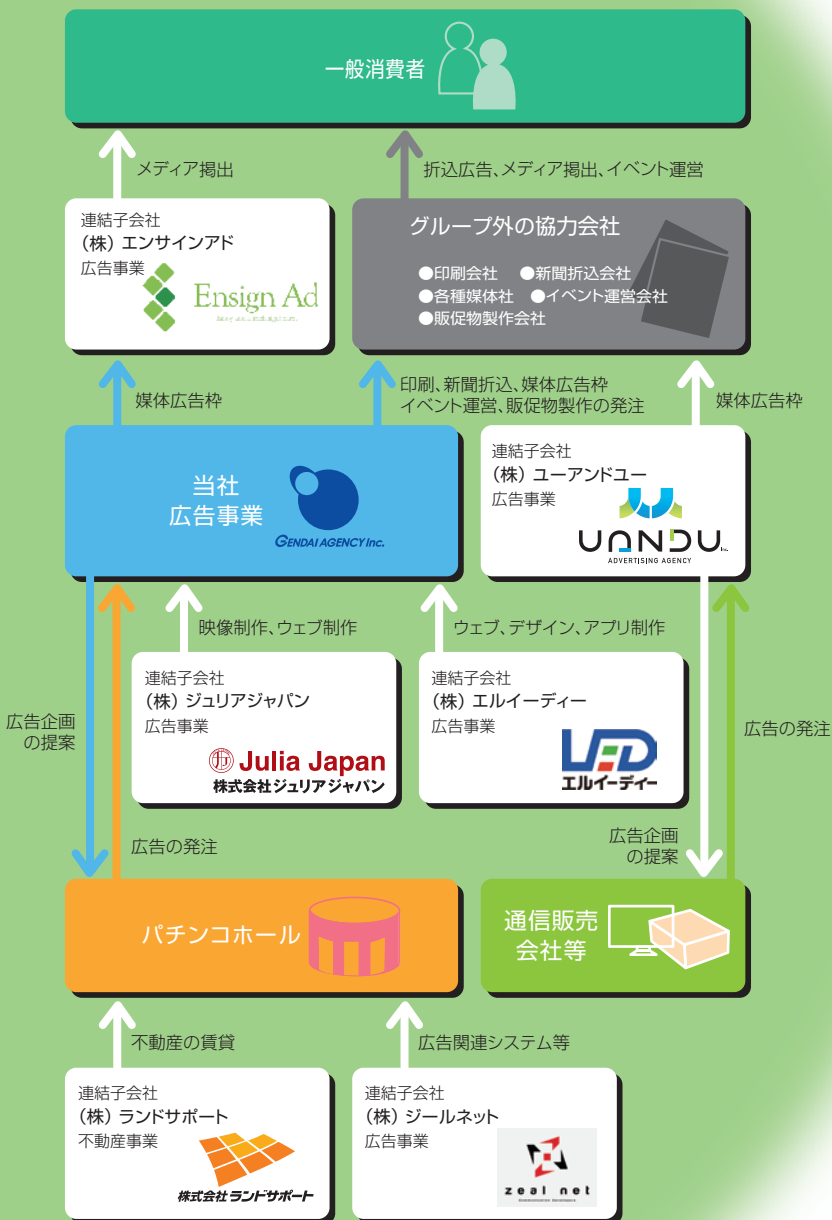
株主通信

2017年3月期 第2四半期

2016年4月1日～9月30日

ゲンダイエージェンシー株式会社

ビジネスモデル



グループ会社の概要

1. 広告事業

ゲンダイエージェンシー (株)

パチンコホールに特化した広告事業。折込広告、販促物、媒体などの企画制作

(株) ユーアンドユー

通信販売会社等を主要クライアントとする広告事業。広告の企画制作、媒体枠販売

(株) ジュリアジャパン

各種映像制作、ウェブ制作などの企画制作

(株) ジールネット

広告システム等の企画制作

(株) エルイーディー

スマートフォンアプリ等の企画開発など

(株) エンサインアド

屋外広告枠の仕入れ、開発、企画販売など

2. 不動産事業

(株) ランドサポート

パチンコホールに特化した不動産の賃貸、仲介

基本理念

私達は、イノベーションと創造性に満ちた取り組みでクライアント企業の業績発展を支援する活動を通じて、豊かな社会の実現に貢献します。

ビジョン

1. 私達は、パチンコ業界をターゲットとした広告市場においてナンバーワンの企業を目指します。
2. 私達は、クライアント企業のコミュニケーション戦略を支援するために既存の広告事業の枠を超えた新しいアイデアやツールを開発、供給し続けていきます。

株主の皆様へ



右： 代表取締役 CEO 山本 正卓

左： 代表取締役 COO 上川名 弦

株主の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
ここに、2017年3月期第2四半期連結累計期間のご報告を申し上げます。

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、金融緩和などを背景として、企業収益や雇用環境の改善により穏やかな回復基調にありましたが、新興国経済の成長鈍化や、年明け以来の株価下落と円高の進行により、企業収益や個人消費について、先行き不透明感が高まっております。

当社グループの主要顧客であるパチンコホール業界においては、ユーザーの参加頻度や投資金額が減少した結果、収益面で厳しい状況が続いております。

新規出店についても減少傾向にあるものの、ここにきて一部の大手法人において、同業法人の買収や、既存営業店舗購入後、屋号変更によりグループ化するなどの動きが出てきており、業界再編が進みつつあることがうかがえます。また、全国のパチンコホールでは、2016年12月末を期限として「検定機と性能が異なる可能性のある遊技機」の撤去が予定されていることから、収益面での先行き懸念が強まっております。

こうした厳しい環境下で、当社グループでは主力の広告事業において収益構造の転換を図るべく、インターネットメディアの積極的な拡販活動や、パチンコホール業界以外の異業種向けサービスであるプリンティング事業の拡大に注力し、収益の底上げを図ってまいりました。また、併行して収益性改善のための固定費抑制にも取り組んでまいりました。

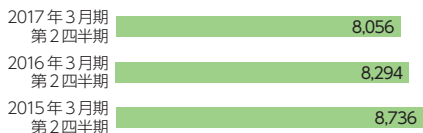
その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は8.056百万円（前年同期比2.9%減）と減収であったものの、営業利益は628百万円（同20.9%増）、経常利益は594百万円（同13.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は397百万円（同19.2%増）と、それぞれ増益となりました。

以上の経営成績をふまえ、1株あたりの第2四半期末配当金は12円とし、お支払い開始日を2016年12月5日（月）とさせていただきます。

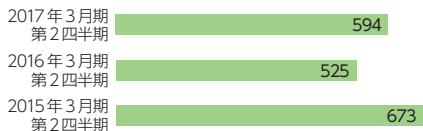
株主・投資家の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

2016年12月

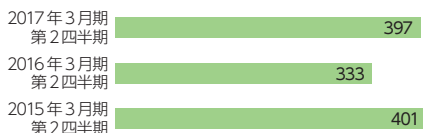
● **売上高（連結）** (単位：百万円)



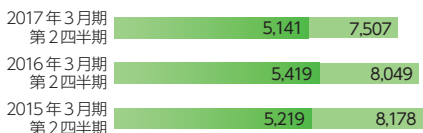
● **経常利益（連結）** (単位：百万円)



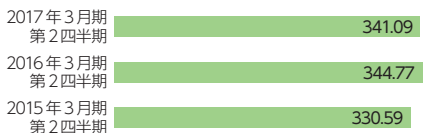
● **親会社株主に帰属する四半期純利益（連結）** (単位：百万円)



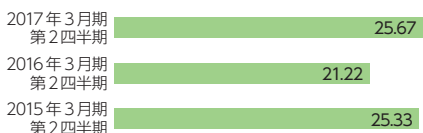
● **総資産額／純資産額（連結）** (単位：百万円)



● **1株当たり純資産額（連結）** (単位：円)



● **1株当たり四半期純利益（連結）** (単位：円)



広告事業

2017年3月期第2四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場は、前期に引き続き、パチンコホール企業における収益性悪化を要因とする広告費の削減が断続的に続いたことに加え、2016年5月に開催された伊勢志摩サミットに関連して、全国のパチンコホールにおいて、約1カ月間にわたり遊技機の入替自粛が行われたことから、広告需要は低迷する状況にありました。

こうした環境下において、当社グループでは、需要の減少による影響を最小限に食い止めるため、新規大手顧客の開拓や、自社メディアである「パチ7」をはじめとしたインターネットメディアの拡販、異業種向けプリンティング事業の営業強化を推進してまいりました。また、コスト面においては、営業拠点の集約、受注プロセスの抜本的な見直しによる合理化、省力化を進めることで、固定費の抑制に注力いたしました。

これらの取り組みが奏功し、売上高については、前年同期からの減少幅を最小限に食い止め、7,943百万円（前年同期比2.9%減）となり、セグメント利益については、固定費の削減効果が寄与し775百万円（同13.3%増）となりました。

不動産事業

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社（株）ランドサポートにおいて、既契約で継続中の2件の賃貸案件のほか、新たな売買・賃貸仲介案件はありませんでした。また、広告事業と同様に、事業運営の合理化を進めてまいりました。

その結果、売上高は72百万円（前年同期比5.8%減）、セグメント利益は固定費の削減が寄与し35百万円（同4.0%増）となりました。

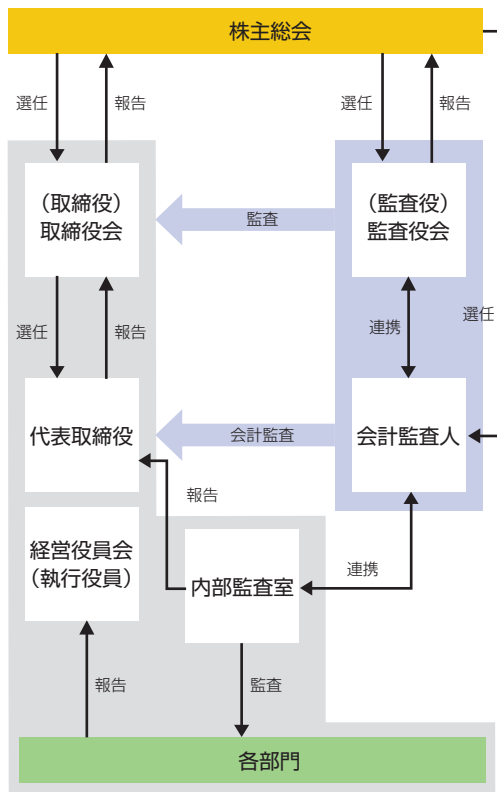
その他

当第2四半期連結累計期間においては、連結子会社Gendai R1 Ltd.における香港飲食事業については、事業運営が次第に安定化してきたことから、売上高は40百万円（前年同期比9.3%増）、セグメント損失は6百万円（前年同期は12百万円の損失）となりました。

また、新規事業案件として、ストレージ事業のテストを新たに開始しております。



コーポレートガバナンス



基本的な考え方

当社のトップ・マネジメントは、株主価値の持続的な増大を図ることが最大の責務であると考えており、健全性（コンプライアンス）と透明性（ディスクロージャー）を確保しながら、常に株主の皆様の利益を念頭に置いた企業活動を実践することを行動規範としております。

取締役会について

法令および定款に定めのあるもの、ならびに会社経営の重要事項として取締役会規程に定めのある事項は、毎月1回以上、開催される取締役会で決定しております。当社では常勤取締役が少人数であることから、日常における頻度の高いコミュニケーションが可能であり、また、社外取締役の選任による牽制効果と相まって効果的な業務執行の監視が可能な体制であると考えております。また、意思決定、経営監督と業務執行を分離し、責任の明確化を図ることを目的として執行役員制度を導入し、取締役会において選任された執行役員で構成される経営役員会において、綿密な審議と機動的な業務執行を行っております。

監査役会について

監査役は取締役会に常時出席しているほか、経営役員会をはじめとする社内の重要会議にも積極的に参加し、法令・定款違反や、株主利益を侵害する事実の有無について重点的に監査を実施しております。また、監査役会を定期的に開催し、監査に関する重要な事項について協議しております。



配当政策、トピックス

配当政策

当社は、今後のさらなる事業拡大を図るために必要な投資原資として、内部留保を充実させつつも、同時にこれまでの経営活動の成果を株主の皆様にも明確な形で還元するため、業績に応じた配当を継続的に実施することにより、中長期的な株主価値の最大化を図ることを基本方針としております。また、目標配当性向については、キャッシュ・フローの状況などを勘案し、当面50%(連結ベース)を目安として考えております。さらに資本効率の向上を重視し、適切なタイミングにおいて自己株式の取得を実施してまいります。

トピックス

自己株式の取得結果について

株主還元の一環として、平成28年6月10日開催の取締役会にて、自己株式の取得に関する決議を行い取得が完了しました。

●自己株式取得の結果

買付株式数 65万株
発行済株式総数に対する割合
4.46%
買付総額 345,067,600円

●決議の内容(ご参考)

取得対象株式の種類 当社普通株式
取得しうる株式の数 70万株(上限)
株式の取得価額の総額 .. 350,000,000円(上限)
取得期間 平成28年6月13日～
9月30日まで

新事業領域での新サービス、新事業の調査、開発の子会社 株式会社アーク設立

当社グループの持続的成長を実現するため、新たな事業領域での事業・業態の開発やクライアント店舗のコンバージョン案件などに対するソリューションの開発、既存事業との親和性の高い他業種向け広告関連サービスの開発などに取り組むため、「株式会社アーク」を設立し連結子会社といたします。

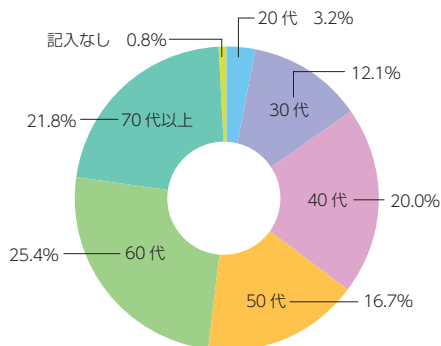
〔概要〕

名 称: 株式会社アーク
代表者: 代表取締役 木藤友治(現、当社取締役)
資本金: 25百万円
設立年月日: 平成28年11月(予定)
出資比率: ゲンダイエージェンシー株式会社
100%

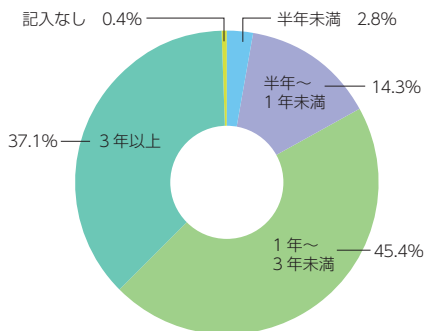
アンケート結果のご報告

回答者属性

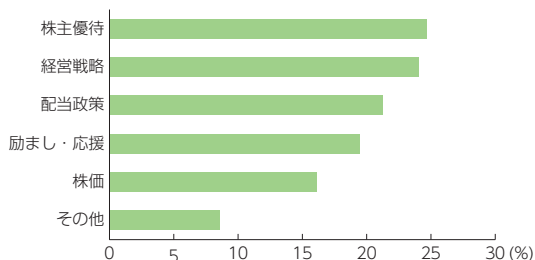
年代



保有期間



ご意見・ご要望の傾向(フリーコメント)



2016年3月期 株主通信アンケートより

当社では、株主の皆様とより一層のコミュニケーションを図るため、株主アンケートを行っております。前回の2016年3月期株主通信でお願いいたしました株主アンケートには、多くのご回答をいただき厚くお礼申し上げます。頂戴した貴重なご意見は、今後の経営に役立てるとともに、IR活動の参考にさせていただきます。

今後も、株主の皆様のご意見、ご要望を頂戴したく、アンケートを実施してまいりますので、その際はどうぞご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

主なご意見・ご要望(フリーコメント)

- 安定した経営をおこない、適正な配当をしていただきたい
- 今回の自社株買いは、経営陣の企業価値重視の姿勢を示しており、評価したいと思います
- 配当の維持をはじめ、株主のことを常に考えた会社運営に期待しています
- 新しい発想と新機軸を求めます
- 周辺事業への拡大など新たな取組をされていることは伝わってくるので、業績の向上などに反映され、株主の目にも見えてくることを期待しています
- これからも御社株式を持っていたいので、2017年3月期の課題が少しでも具体的に前進することを願っています。がんばってください

今後も、皆様からいただいたご意見を活かしながら、より良い会社経営に取り組んでまいります。

第2四半期財務諸表

① 資産合計<

主に取引高の減少により、受取手形及び売掛金が310百万円減少した他、納税、配当および自己株式取得により現金及び預金が224百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して519百万円減少の7,507百万円となりました。

② 負債合計<

主に取引高の減少により、支払手形および買掛金が196百万円減少した他、借入金が120百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比較して312百万円減少の2,366百万円となりました。

③ 純資産合計<

四半期純利益397百万円を計上する一方で、株主還元として自己株式取得345百万円および利益配当235百万円を実施したことなどにより、前連結会計年度末と比較して206百万円減少の5,141百万円となりました。

第2四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

区分	当第2四半期連結会計期間 (2016年9月30日現在)	前連結会計年度 (2015年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	5,512	6,129
現金及び預金	3,282	3,507
受取手形及び売掛金	1,979	2,289
有価証券	100	150
繰延税金資産	15	17
その他	136	167
貸倒引当金	△ 1	△ 2
固定資産	1,995	1,897
有形固定資産	950	946
無形固定資産	106	123
投資その他の資産	938	827
① 資産合計	7,507	8,026
負債の部		
流動負債	1,913	2,160
支払手形及び買掛金	1,212	1,408
短期借入金	100	100
1年内返済予定の長期借入金	140	190
未払法人税等	229	213
その他	232	248
固定負債	452	518
長期借入金	430	500
資産除去債務	8	8
その他	13	10
② 負債合計	2,366	2,678
純資産の部		
株主資本		
資本金	751	751
資本剰余金	1,063	1,063
利益剰余金	3,664	3,502
自己株式	△ 345	—
株主資本合計	5,133	5,317
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△ 12	△ 3
為替換算調整勘定	11	26
その他の包括利益累計額合計	△ 0	23
非支配株主持分	8	7
③ 純資産合計	5,141	5,348
負債純資産合計	7,507	8,026

第2四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)
4 売上高	8,056	8,294
売上原価	6,217	6,455
売上総利益	1,839	1,839
販売費及び一般管理費	1,210	1,319
4 営業利益	628	519
営業外収益	7	11
営業外費用	41	6
経常利益	594	525
特別利益	—	17
税金等調整前四半期純利益	594	542
法人税、住民税及び事業税	191	204
法人税等調整額	4	5
法人税等合計	196	210
四半期純利益	397	331
非支配株主に帰属する四半期純利益又は 非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△ 1
4 親会社株主に帰属する四半期純利益	397	333

4 売上高・営業利益・四半期純利益

当社グループでは、主力の広告事業においてインターネットメディアや屋外広告の積極的な拡販活動や、パチンコホール業界以外の異業種向けサービスであるプリンティング事業に注力し、収益の底上げを図ってきました。その結果、売上高は前年同期と比較し2.9%減少の8,056百万円と減収であったものの、営業利益は同20.9%増加の628百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同19.2%増加の397百万円と、それぞれ増益となりました。

5 営業活動によるキャッシュ・フロー

税金等調整前四半期純利益594百万円を計上した他、売上債権の減少310百万円と仕入債務の減少196百万円があった一方で、前期決算に係る法人税等の納付額196百万円があったことなどにより、643百万円の収入(前年同期は300百万円の収入)となりました。

第2四半期連結包括利益計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)
四半期純利益	397	331
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△ 8	△ 21
為替換算調整勘定	△ 15	28
その他の包括利益合計	△ 23	7
四半期包括利益	373	339
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	373	340
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△ 1

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	当第2四半期 累計期間 (自 2016年4月 1日 至 2016年9月30日)	前第2四半期 累計期間 (自 2015年4月 1日 至 2015年9月30日)
5 営業活動によるキャッシュ・フロー	643	300
6 投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 126	△ 137
7 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 700	△ 265
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 42	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 225	△ 102
現金及び現金同等物の期首残高	3,513	3,536
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	40
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,287	3,474

6 投資活動によるキャッシュ・フロー

主として投資有価証券の償還・売却による収入150百万円があった一方で、投資有価証券の取得による支出162百万円があった他、その他投資の純増加77百万円があったことなどにより、126百万円の支出(前年同期は137百万円の支出)となりました。

7 財務活動によるキャッシュ・フロー

前期決算に係る期末配当金の支払235百万円があったことその他、自己株式の取得による支出が345百万円あったことなどにより700百万円の支出(前年同期は265百万円の支出)となりました。



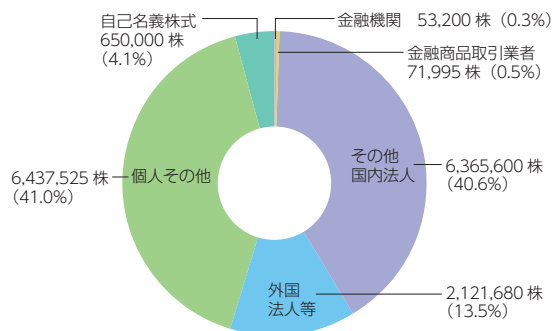
株式の状況

< 2016年9月30日現在 >

株式の状況

発行する株式の総数 66,400,000株
 発行済株式総数 15,700,000株
 株主数 5,453 人

所有者別株式分布状況



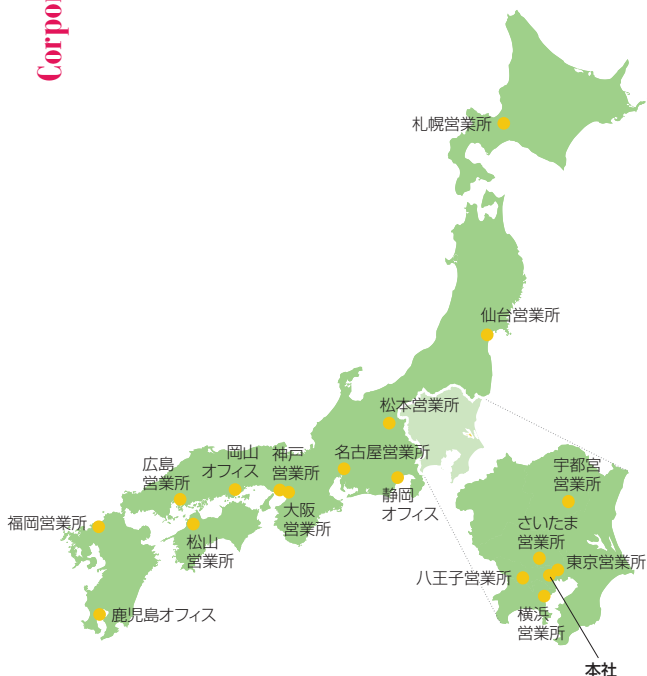
大株主

株主名	持株数(株)	%
1 アセット・マネジメント・アドバイザーズ (株)	5,244,000	33.4
2 BBH FOR FIDELITY PURITAN TR: FIDELITY SR INTRINSIC OPPORTUNITIES FUND 常任代理人 (株)三菱東京UFJ銀行	850,000	5.4
3 ジャパンプリント (株)	480,000	3.1
4 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505224 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	375,000	2.4
5 梅田 美智子	362,900	2.3
6 山本 正卓	322,400	2.1
7 完山 敏錫	320,000	2.0
8 STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 常任代理人 香港上海銀行東京支店	217,190	1.4
9 THE BANK OF NEW YORK 133522 常任代理人 (株)みずほ銀行決済営業部	183,500	1.2
10 ゲンダイエージェンシー従業員持株会	181,900	1.2

※ 2016年6月13日～8月31日を買付期間として、自己株式650,000株を取得いたしました。



会社情報



会社概要

< 2016年9月30日現在 >

商号 ゲンダイエージェンシー株式会社
(GENDAI AGENCY INC.)

本社所在地 〒163-1429 東京都新宿区西新宿3-20-2
東京オペラシティビル 29F
TEL: 03-5308-9888 (代)
※登記上の本店所在地は下記の通りです
東京都八王子市東町9-8
なお、10月1日より本店所在地を東京都新宿区
西新宿3丁目20番2号に移転いたしました。

設立 1995年4月

資本金 7億5,159万1,776円

発行済株式総数 ... 15,700,000株

業務内容 広告、宣伝に関する企画および制作

事業所 ●本社、クリエイティブ本部

●全国17営業拠点

(札幌、仙台、東京、八王子、宇都宮、さいたま、
横浜、松本、名古屋、静岡、大阪、神戸、広島、
岡山、松山、福岡、鹿児島)

連結子会社 (株)ランドサポート / (株)ユーアンドユー /
(株)ジュリアジャパン / (株)ジールネット、
(株)エルイーディー / (株)エンサインアド

役員一覧

< 2016年6月24日現在 >

代表取締役 CEO 山本 正卓
代表取締役 COO兼CCO 上川名 弦
取締役 CFO 高 秀一
取締役 木藤 友治
取締役 坂本 哲進
取締役(社外) 上 岳史
取締役(社外) 松崎 みさ
常勤監査役 安達 吉明
監査役 寺田 公規
監査役 東 徹
監査役 高野 健二

ガンダエージェンシー株式会社 | [ホーム](#) | [お問い合わせ](#) | [English](#) | [サイトマップ](#) | [お問い合わせ](#)

ニュースリリース 会社情報 サービスについて IR・投資家情報 CSRの取り組み 関係者情報

IR・投資家情報

ホーム > IR・投資家情報

株価変動
Yahoo!ファイナンス

経営・投資家の皆様へ
目録

5分でわかる
ガンダエージェンシー

IRカレンダー

2016年10月14日 第20回決算発表会

ニュースリリース

[IR誌・RSSとは](#) [一覧ページ](#)

2016年10月14日	PDF	子会社の並びに新する形態など	(7/14)	View	
2016年10月14日	PDF	2017年3月期第2四半期決算概要	(9/14)	View	
2016年10月14日	PDF	平成28年3月期 第2四半期決算短信（日本語版）	(英訳)	View	
2016年09月01日	PDF	自己株式の取得状況及び取得額に関するお知らせ	(5/14)		
2016年08月01日	PDF	自己株式の市場買付状況に関するお知らせ	(5/14)		
2016年07月29日	PDF	四半期報告書「第22期第3四半期」を2016年7月1日～平成28年6月30日	(5/14)		
2016年07月15日	PDF	平成28年3月期 第1四半期決算短信（日本語版）	(英訳)	View	

● 経営・投資家の皆様へ

株主、投資者の皆様へお便り
としまして御挨拶申し上げます。

● 経営方針

当社グループの中核的経営理念として掲げたいです。

● 事業紹介

当社グループの事業についてご紹介いたします。

● 株主還元方針・配当金

優先株や剰余金等の増減を掲載しています。

● 財務ハイライト（連結）

連結の財務諸表（監訳）をご提供いたします。

● 施設・施設概要

施設に関する情報を掲載しております。

● コーポレート・ガバナンス

当社の職務内容および責任を掲載いたします。

● IRカレンダー

実施予定のIRイベントと日程を一覧でご案内します。

● Rウェブサイト

株式に関する情報はPDF形式でダウンロードできます。

● 電子公告

法定公告事項を配信しています。

● アイスクローザーポリシー

当社の情報開示に関するポリシーをご用意いたします。

● よくある質問

よくある質問とその回答を掲載いたします。

● お問い合わせ

IRに関するご質問等はこちらから承ります。

[▲ Page Top](#)

◎ 会社情報

- 代表取締役
- 役員
- 監査役
- グループ全体の概要
- 沿革
- 組織図
- 事業の一覧

◎ サービスについて

- サービスメニュー
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス

◎ IR・投資家情報

- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス
- IR・投資家サービス

◎ ニュースリリース

- ニュースリリース
- ニュースリリース
- ニュースリリース
- ニュースリリース
- ニュースリリース
- ニュースリリース
- ニュースリリース

◎ CSRの取り組み

- コーポレート・ガバナンス
- コーポレート・ガバナンス
- コーポレート・ガバナンス
- コーポレート・ガバナンス
- コーポレート・ガバナンス
- コーポレート・ガバナンス
- コーポレート・ガバナンス

◎ 関係者情報

- 関係者情報
- 関係者情報
- 関係者情報
- 関係者情報
- 関係者情報
- 関係者情報
- 関係者情報

免状番号 プライバシーポリシー 海外での活動について サポートデスク Copyright © 2016 GUNDA AGENCY INC. All Right Reserved.

(ご注意).....

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社など）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社などにお問い合わせください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でのお支払いいたします。